

# 北公民館

## 新体制で 分館活動開始

晴れ渡る空のもと、運動会を中心とした各分館で15年度の活動がはじまりました。

各分館の特色を生かした内容で、地域のコミュニケーションを深めました。これからも分館と公民館が手をたずさえ、地域の親睦が、より一層深まる活動をめざしたいと思います。



▶「じょうずにパンがとれるかなー？」  
(大間運動会)

4月19日(土)  
大間運動会

4月20日(日)  
西高柳運動会  
上高柳ソフトバレーボール大会



▲いきをあわせて。せーの。ホイ(西高柳運動会)



▲それ行けー!(昌農内運動会)



▲いくわよ!それーっ!(恵久美運動会)

4月27日(日)  
昌農内運動会  
恵久美運動会

5月11日(日)  
北川原運動会  
西古泉運動会  
(雨天の為中止)  
塩屋運動会  
(雨天の為中止)



▲いきをあわせて、いちに、いちに(北川原運動会)

## 人権・同和教育シリーズ 第247回

### 共に支え合える社会

松前中学校人権・同和教育主任 中島 義人

昨年開催されたサッカーワールドカップ。この大会に出場したデンマークのトマソンという選手を知っている方は少ないと思います。

デンマークは、和歌山県でキャンプを行いました。県民とも多くの交流を行いました。その中で、トマソンは、幼いころの病気が原因で口と耳が不自由な少年と出会います。二人は、通訳を通じた筆談で語り合います。

「サッカー好きですか?」  
「はい、大好きです。」  
「デンマーク、応援してくださいね。」  
「はい、頑張ってください。」  
そんな会話の最後にトマソンは、

「僕は、今大会で1点は必ずとります。その姿を見て、君がこれからの人生を頑張れるよう祈っておきます。」  
と言って大会に臨みました。

そして、和歌山県民や少年の応援の中、トマソンは約束を守り、得点を決めたのです。それも、4得点!

見事、決勝トーナメント進出を果たしたのです。

残念ながら、一回戦でベツカム率いるイギリスに敗れましたが、トマソンの大活躍は、少年に「前へ進む」大きな勇気を与えたのです。

デンマーク選手のお疲れさまで再会した二人。トマソンは少年に、

「君の試練は辛いことだと思いますが、君は一人ぼっちじゃないということを理解していますか?君にもゴールを決めるチャンスは必ずある。チャンスを逃がさず、ちゃんとゴールを決めてください。」  
少年にたくさんの勇気を与えたトマソン。そして、デンマークチームに力を与えた少年や和歌山県の方たち。誰もが支え合い、助け合うことができる。そして、誰もが「一人じゃないんだ。」という力を分かち合える。そんな温かい社会をつくるための一人になりたいと強く感じました。